

当社初の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」を引渡しました

当社建造の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」(15,512 総トン、以下「本船」)の引渡しが完了し、1 月 21 日に大洗～苫小牧航路に就航しました。

本船は、株式会社商船三井様が保有し、グループ会社である株式会社商船三井さんふらわあ様が運航する最新鋭 LNG 燃料フェリーです。

本船は主に LNG 燃料を使用する高効率エンジンの搭載に加え、斜め向かい風から受ける揚力を推進力として活用する「ISHIN 船型」(註 1) や、「実海域省エネ装置 STEP(ステップ)」(註 2) など様々な最新技術を採用することにより、従来船に比べ CO2 の排出量を約 35%抑えることが可能となりました。

従来船より貨物車両の積載スペースを拡張するとともに、客室の全室個室化によりトラックドライバーの方々に快適に過ごしていただける空間を提供することで、モーダルシフトを促進し、「物流の 2024 年問題」の解決に貢献する船舶です。

当社は LNG 燃料フェリーの建造を通じて得たノウハウを、次世代の低環境負荷型の内航フェリー・RORO 船の生産拡大に引き継ぎ、高度な環境性能を備えた船舶の建造が可能な造船所として海上輸送に貢献していきます。



(註 1) 株式会社商船三井、商船三井テクノトレード株式会社、株式会社三井造船昭島研究所の 3 者で共同開発した船首・船側方向からの風圧を低減する形状により風の流れをスムーズにし、斜め向かい風から受ける揚力を推進力として利用する船型。高速で航行するフェリーの特性を活かしたものの。

(註 2) 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所、内海造船株式会社とで共同開発した船首水面上の矩形の付加物で波浪中の燃費悪化を抑える装置。船の自走により生じる航走波よりも上部に STEP を設置することで平水中性能の最適化を図れるとともに、海洋波による抵抗を減少させる。